

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第47期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	KYCOMホールディングス株式会社
【英訳名】	KYCOM HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 勇雄
【本店の所在の場所】	福井県福井市月見五丁目4番4号
【電話番号】	0776-34-3512（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 吉村 仁博
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市月見五丁目4番4号
【電話番号】	0776-34-3512（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 吉村 仁博
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期 連結累計期間	第47期 第3四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,366,577	2,396,917	3,379,284
経常利益 (千円)	90,493	71,708	187,052
四半期(当期)純利益 (千円)	41,149	47,985	114,231
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	54,712	58,300	172,184
純資産額 (千円)	1,343,194	1,518,107	1,460,666
総資産額 (千円)	3,080,504	3,171,891	3,267,823
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	8.10	9.44	22.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.1	47.5	44.2

回次	第46期 第3四半期 連結会計期間	第47期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	1.96	9.80

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融政策などを背景として円安・株高傾向の継続から国内企業の業績の改善や個人消費の持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかに回復基調で推移いたしました。

しかしながら、一方では新興国の成長鈍化、米国の金融緩和政策の動向や今春の消費税率の引き上げなどの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況であります。

当情報サービス業界においては、企業業績の改善を背景に企業のIT関連投資も全般的には緩やかな改善傾向にありますが、市場競争の激化や価格の抑制傾向は続いております。また、クラウドコンピューティングサービスの利用拡大、スマートフォン、タブレット型端末の普及などを背景に、それらの関連ビジネスは拡大しつつあり、企業を取り巻くIT環境は大きく変化しております。

このような状況下で当社グループは、引き続き事業の柱であるソフトウェア開発やコンピュータ関連サービス事業を中心に、グループ間で連携を取りながら提案営業の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は、23億96百万円（前年同期23億66百万円）となり前年同期に比べ僅かではありますが増収となりました。

また、営業利益および経常利益は、売上高の増収はあったものの上半期における一部子会社のSEの稼働率の低下などが原価率を押し上げる結果となり、前年同期に比べ、営業利益68百万円（前年同期は、76百万円）および経常利益71百万円（前年同期は、90百万円）となりそれぞれ減益となりました。

四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益27百万円の計上があったものの過年度決算訂正関連費用17百万円と課徴金27百万円の計上があり、四半期純利益47百万円（前年同期は、四半期純利益41百万円）となりました。

なお、部門別の売上高は次のとおりであります。

部門（業務内容）の名称	前第3四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで		当第3四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで		対前年同期 増減率（%）
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	
ソフトウェア開発及び関連業務	1,388,996	58.7	1,369,040	57.1	1.4
コンピュータ関連サービス	887,122	37.5	965,706	40.3	8.9
データエントリー	55,020	2.3	36,448	1.5	33.8
その他	35,438	1.5	25,722	1.1	27.4
合計	2,366,577	100.0	2,396,917	100.0	1.3

(2) 財政状態の分析

(資産の変動について)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は31億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円の減少となりました。流動資産は11億98百万円となり、1億35百万円減少いたしました。主な要因は、仕掛品が1億59百万円増加いたしました。現金及び預金が54百万円、受取手形及び売掛金が1億11百万円並びに有価証券が1億28百万円減少したことによるものであります。

固定資産は19億72百万円となり、39百万円増加いたしました。有形固定資産は13億9百万円となり、20百万円減少いたしました。無形固定資産は30百万円となり、11百万円減少いたしました。投資その他の資産は6億33百万円となり、71百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券が1億17百万円増加し、長期貸付金が38百万円減少したことによるものであります。

(負債の変動について)

当第3四半期連結会計期間末の負債は16億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円の減少となりました。流動負債は8億76百万円となり、87百万円減少いたしました。主な要因は、未払金が1億41百万円減少したことによるものであります。

固定負債は7億77百万円となり、65百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が71百万円減少したことによるものであります。

(純資産について)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は15億18百万円となり、前連結会計年度に比べ57百万円の増加となりました。主な要因は、当四半期純利益47百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計期間末の44.2%から47.5%となりました。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,115,492	5,115,492	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株 であります。
計	5,115,492	5,115,492	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年10月1日～平成 25年12月31日	-	5,115	-	1,612	-	-

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 33,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,060,000	5,060	-
単元未満株式	普通株式 22,492	-	-
発行済株式総数	普通株式 5,115,492	-	-
総株主の議決権	-	5,060	-

- (注) 1 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が18,000株(議決権18個)含まれております。
- 3 「単元未満株式」欄の普通株式には、単元未満自己株式978株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) KYCOM ホールディングス株式会社	福井県福井市月見五丁目4 番4号	33,000	-	33,000	0.64
計	-	33,000	-	33,000	0.64

- (注) 1 株主名義上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が21,000株(議決権21個)あります。なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式に含めております。
- 2 当社は単元未満自己株式978株を保有しております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は次のとおりであります。

退任取締役

[氏名] 山崎 明子(経営統制部長、海外事業室長、監査室長)

[退任日] 平成25年12月31日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	552,467	498,060
受取手形及び売掛金	463,698	352,069
有価証券	195,139	66,330
商品	10,273	10,808
原材料	619	811
仕掛品	17,046	177,036
貯蔵品	850	810
短期貸付金	760	1,344
繰延税金資産	4,337	7,359
その他	88,732	86,523
貸倒引当金	-	2,719
流動資産合計	1,333,925	1,198,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	446,574	432,247
機械装置及び運搬具（純額）	946	725
工具、器具及び備品（純額）	33,601	27,577
土地	847,477	847,477
建設仮勘定	1,500	1,500
有形固定資産合計	1,330,100	1,309,527
無形固定資産		
投資その他の資産	42,403	30,449
投資有価証券	323,203	440,345
長期貸付金	156,404	117,941
固定化営業債権	35,875	34,267
その他	81,618	74,719
貸倒引当金	35,875	34,267
投資その他の資産合計	561,227	633,006
固定資産合計	1,933,730	1,972,983
繰延資産	167	470
資産合計	3,267,823	3,171,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,672	42,861
短期借入金	372,276	381,449
未払金	356,137	214,509
未払費用	46,159	62,632
未払法人税等	19,415	3,292
賞与引当金	51,658	33,487
その他	86,551	138,098
流動負債合計	963,871	876,330
固定負債		
長期借入金	710,927	639,670
長期未払金	16,291	15,340
繰延税金負債	22,320	29,794
退職給付引当金	91,593	90,690
その他	2,151	1,956
固定負債合計	843,284	777,453
負債合計	1,807,156	1,653,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
資本剰余金	48,480	-
利益剰余金	279,288	182,822
自己株式	8,951	8,991
株主資本合計	1,372,747	1,420,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,919	81,755
為替換算調整勘定	2,882	3,823
その他の包括利益累計額合計	71,802	85,578
少数株主持分	16,116	11,836
純資産合計	1,460,666	1,518,107
負債純資産合計	3,267,823	3,171,891

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,366,577	2,396,917
売上原価	1,880,892	1,909,412
売上総利益	485,685	487,505
販売費及び一般管理費	409,023	419,065
営業利益	76,661	68,440
営業外収益		
受取利息	113	138
受取配当金	5,036	7,220
賃貸料収入	13,628	13,902
有価証券運用益	7,226	4,422
その他	¹ 20,086	¹ 7,210
営業外収益合計	46,090	32,893
営業外費用		
支払利息	13,187	11,283
減価償却費	10,492	9,874
その他	8,578	8,466
営業外費用合計	32,258	29,625
経常利益	90,493	71,708
特別利益		
投資有価証券売却益	3,787	27,313
特別利益合計	3,787	27,313
特別損失		
投資有価証券償還損	5,933	-
投資有価証券評価損	14,438	752
過年度決算訂正関連費用	-	17,661
課徴金	-	27,000
固定資産除却損	255	63
特別損失合計	20,627	45,477
税金等調整前四半期純利益	73,653	53,544
法人税等	33,583	9,019
少数株主損益調整前四半期純利益	40,069	44,524
少数株主損失()	1,080	3,461
四半期純利益	41,149	47,985
少数株主損失()	1,080	3,461
少数株主損益調整前四半期純利益	40,069	44,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,922	12,835
為替換算調整勘定	1,721	940
その他の包括利益合計	14,643	13,776
四半期包括利益	54,712	58,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,792	61,761
少数株主に係る四半期包括利益	1,080	3,461

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
当社は、平成25年4月1日をもって当社100%出資の連結子会社であるボックスシステム(株)及び株式会社東北共栄システムズ並びに有限会社湘南共栄システムズの3社を吸収合併したため、当該3社は連結の範囲より除外されております。	
また、第1四半期連結会計期間より、新たに設立した(株)そんとくを連結の範囲に含めております。	

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

1 営業外収益「その他」の主なものは、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
雇用調整助成金収入	12,052千円	2,921千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	50,069千円	40,299千円
のれん償却費	1,102千円	1,450千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社の情報処理事業の売上高及び営業損益の全セグメントに占める割合がいずれも90%超であり概ね単一セグメントとなること、最高経営意思決定機関への報告も単一セグメントとしてなされていること等により開示を省略いたします。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当社の情報処理事業の売上高及び営業損益の全セグメントに占める割合がいずれも90%超であり概ね単一セグメントとなること、最高経営意思決定機関への報告も単一セグメントとしてなされていること等により開示を省略いたします。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	8円10銭	9円44銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	41,149	47,985
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳	該当事項はありません。	該当事項はありません。
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	41,149	47,985
普通株式の期中平均株式数(株)	5,081,732	5,081,632

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

1. 当社は、平成26年1月1日をもって当社100%出資の連結子会社である有限会社北陸共栄システムズを吸収合併いたしました。

(1) 対象となった事業の名称及び事業の内容

当社100%出資の連結子会社である有限会社北陸共栄システムズは、コンピュータソフトウェアの研究・開発・販売、コンピュータによる情報処理、コンピュータ技術者の派遣等を行っております。

(2) 企業結合日

平成26年1月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式とし、有限会社北陸共栄システムズは解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

KYCOMホールディングス株式会社

(5) 本合併に係る割当ての内容

当社の全額出資子会社との合併であるため、本合併に際して新株式の発行および合併交付金の支払いは行いません。

(6) 合併後の状況

本合併による当社の商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金、決算期のいずれも変更ありません。

2. 当社の100%出資の連結子会社である共同コンピュータ株式会社が、平成26年2月1日をもって会社分割を実施し、持株会社へ移行いたしました。併せて商号の変更を行いました。

(1) 分割の目的

コア事業部門とノンコア事業部門を分割し、より効率的な事業部門の広域展開を図るべく管理機能を持株会社へ移行させ、事業部門の充実を目指します。

(2) 分割の方法

当該会社の事業を、新設する会社に承継させる新設分割の方法により行い、新設した会社が発行する株式はすべて分割をなす会社である当該会社に割当てます。共同コンピュータ株式会社は、商号を「KYCOM株式会社」に変更し、持株会社となり、引き続き当社の子会社となりました。

(3) 割当ての内容

分割に伴い設立された子会社が発行する普通株式2,000株は、そのすべてを分割会社であるKYCOM株式会社に割当てております。

(4) 割当ての算定根拠

当該新設分割は当該子会社が単独で行うため、該当いたしません。

(5) 承継する権利義務

資産および負債

分割により新設会社が分割会社から承継する資産および負債は、分割期日における本件営業に関する資産、負債およびこれに付随する一切の権利義務とする。なお、債務の承継については、重畳的債務引き受けの方法によります。

承継する労働契約

分割期日に於いて本件営業部門に在籍する者全員を対象として、新設会社は分割会社の労働契約上の地位を承継しました。

(6) 分割後の分割会社および新設会社の概要

分割会社

- ・商号 KYCOM株式会社
- ・事業内容 有価証券の保有、売買、投資ならびに運用。経営指導および業務受託。
- ・本店所在地 東京都千代田区神田須田町一丁目2番地7
- ・代表者 代表取締役 村井幸夫
- ・資本金の額 200百万円
- ・事業年度の末日 3月31日

新設会社

- ・商号 共同コンピュータ株式会社
- ・事業内容 コンピュータソフトウェアの開発、販売。コンピュータによる情報処理サービス。
- ・本店所在地 東京都千代田区神田須田町一丁目2番地7
- ・代表者 代表取締役 村井幸夫
- ・資本金の額 100百万円
- ・事業年度の末日 3月31日

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月14日

KYCOMホールディングス株式会社
取締役会 御中

アスカ監査法人

指定社員 公認会計士 田 中 大 丸 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 法 木 右 近 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているKYCOMホールディングス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、KYCOMホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成25年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成25年7月31日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成25年7月31日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。